



古民家を活用したサテライトオフィス【神山町】



藍染作品の進化におどろく【上板町】

議員管外研修

10月17日～19日

議会運営委員会研修

10月3日

議員管外研修を、徳島県上板町、神山町で行った。

している。

【上板町】
特産品を生かしたまちづくりの研修を目的に、藍染、藍と紅花の共同の取り組みについて学んだ。

本町は平成30年度に表敬訪問。共同の取り組みへ情報交換。コラボレーション作品を制作した。その後は本町観光協会において藍染商品の展示や物販が継続している。
引き続き両町の交流に期待したい。

藍染

訪れた「技の館」では、上板町の特徴である「技」をテーマに、藍染や阿波和三盆糖などの歴史や文化を、座学と体験で深く知ることができた。

【神山町】

移住・定住等の施策についての研修を目的に、サテライトオフィスなどを視察した。

地方創生の聖地

以前から地方創生の一環で高速インターネットの整備など積極的な導入が聖地と言われる理由ではないか。

本町でも更なるデジタル化の促進が課題であると感じた。



デジタル起業に対応した共同事務所【神山町】

民間が主導

意欲ある民間や人材が地方創生を主導しており、自治体は民間に寄り添い支援していくことが成功のポイントと感じた。

今後は官民が互いに協力し、知恵を出し合い進めていくことが重要になると思われる。

研修を通してたくさんヒントがあり、大いに参考になった。

議会改革及び運営についての研修を福島県小野町で行った。

○小野町議会の取り組み
○住民との意見交換会

《効果》

町民の要望を把握でき、予算審査などに有効に活用できた。

○通年議会

《効果》

①議長権限で本会議を開催でき、行政のチェック機能の充実、議会の主体性・機動性を高められる。
②原則として専決処分がなくなる。
③委員会の所管事務調査など時機を逸することなく行える。
④町民からの請願・陳情に速やかに対応できる。
⑤議員個々の意識改革と資質向上など。



○タブレット端末導入
《効果》
当初は反対した議員も実際に使ってみると「これほど便利なものはない」と感想を述べていた。

【まとめ】

通年議会は、災害などの突発的な事件や緊急の行政課題などへ迅速に対応できる。また、情報共有やペーパーレス化などによるICT化を進めるためタブレット導入の必要性を感じる。